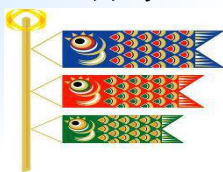


かなね



長久手市立長久手小学校長

森田 浩基

夢と希望をもち 進んで学び 挑戦し続ける 長小の子

愛される人になるためには！



今年度がスタートして1か月経ちました。1年生もようやく学校生活に慣れてきたところだと思います。それぞれの学年で、新しい学級の雰囲気、担任の先生との授業、友達との活動を通して、楽しく学校生活を過ごしています。

さて、一般的に4月当初よりも5月の連休前、連休後に学校へ登校する気持ちの変化が大きくなると言われています。学校生活に慣れてきたことで、学習の難しさや友達関係に悩むこともあるかと思います。学校へ足が向かない子どもにとって、家庭は居心地がよく、最も安心できる場所です。学校におきましても、さまざまな教育活動を通じて「わかる」「できる」等の学ぶ楽しさ、友達や先生との温かな人間関係が実感できる居心地のよい安心できる場所にしていきたいと考えています。先日、ある講演会で「愛される人になるためには」という話を聞く機会がありました。何かをしようと思ったとき、周囲の協力を得られなければ何もできないのが現状です。だからこそ、周囲との調和や友達との関係を意識するよう働きかけることが大切であるという内容でした。そうであるならば、「愛される人になるためには」にどうしたらよいのか、ある書籍の一節にヒントを見つけましたので紹介いたします。

子どもたちが社会で愛される人格をもてるようになるためには、どうすればよいのでしょうか。小さなことですが、「他人がいるところで大きな声で話さない」「玄関では靴を揃える」「人に何かしてもらったら丁寧にお礼を言う」「むだ遣いをしない」「約束の時間を守る」といった当然の習慣を身につけていること。やはり、礼儀や社会の常識、教養を身につけさせてあげることではないでしょうか。そこで、次の6つのことに気をつけたいと考えます。

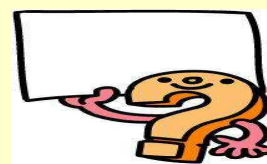
1. 自制心と他者への配慮をしつける。
2. まっとうな金銭感覚を身につけさせる。
3. 教養と感受性を身につけさせる
4. 「役割分担」でしつけをする
5. 親の会話が子どもの人間性を形つくる
6. 子どもは親の真似をする



『一流の育て方』2016年 ダイヤモンド社より一部抜粋

大型連休が終わり、学校での教育活動が本格的に始まります。ご家族での無償の愛情を十分に感じさせてあげてください。身近な方から愛されているという感覚ほど、子どもたちにとって大切なものではありません。愛情は信頼関係を強めます。子どもの頑張る力となります。ぜひ、言葉と行動で愛情を伝えてあげていただきたいと思います。

今後の教育活動について



現在、愛知県は「厳重警戒」の措置がとられており、長久手市のガイドラインに則り、各種教育活動を実施しております。

次の活動については、感染拡大防止対策を講じながら実施予定です。

○修学旅行 ○野外活動 ○運動会 ○授業公開 ○学習発表会 ○各学年校外学習の実施を考えております。また、教科指導においても体育の水泳指導、音楽の歌唱及び管楽器指導、家庭科の調理実習等も徐々に再開していく予定です。

今後の感染症状況を注視しながら子どもたちの安心・安全を第一に考えて、各種教育活動を進めて参ります。ご理解とご協力をお願いいたします。

